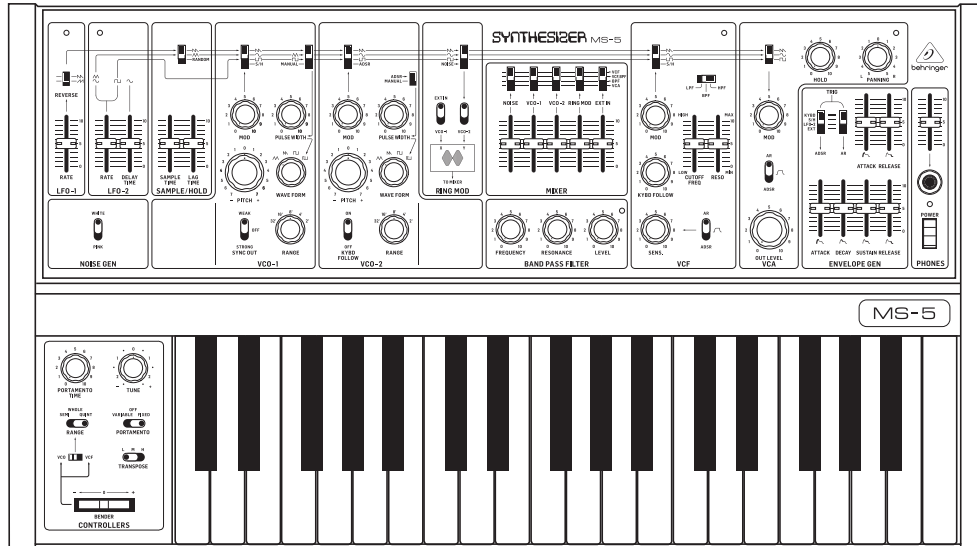




MS-5

Analog Synthesizer with 37 Full-Size Keys, 2 VCOs, Multi-Mode VCF, VCA, 2 LFOs, 2 Envelopes and Ring Modulator

JP

JP

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

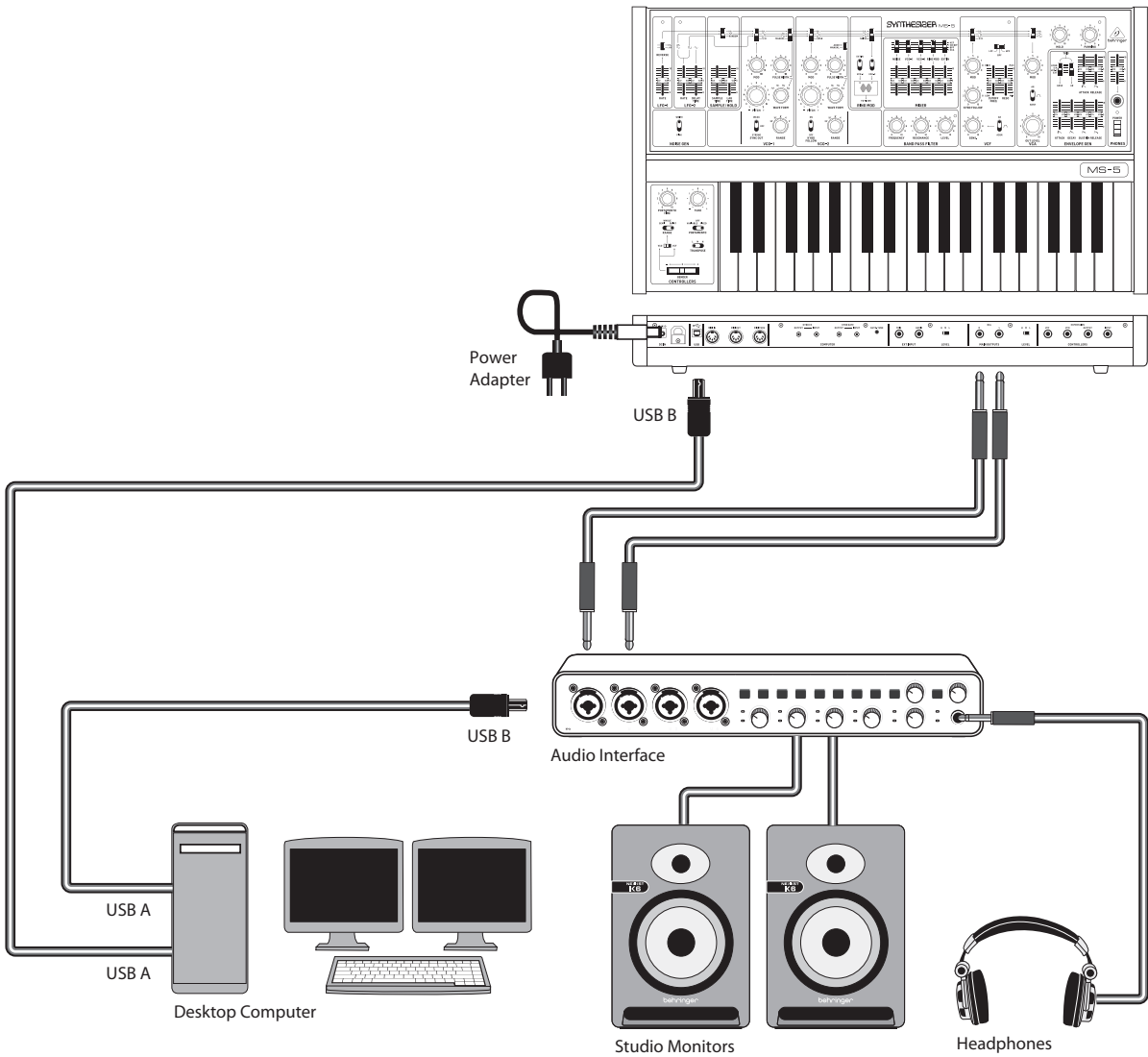
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

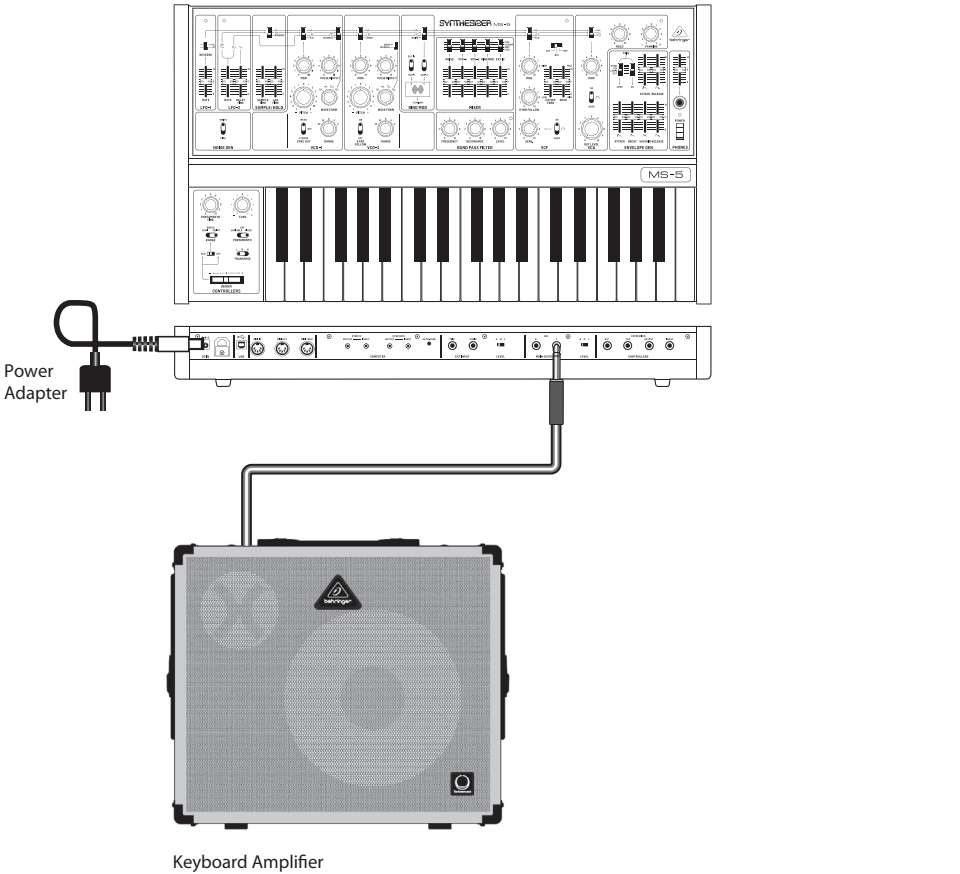
MS-5 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

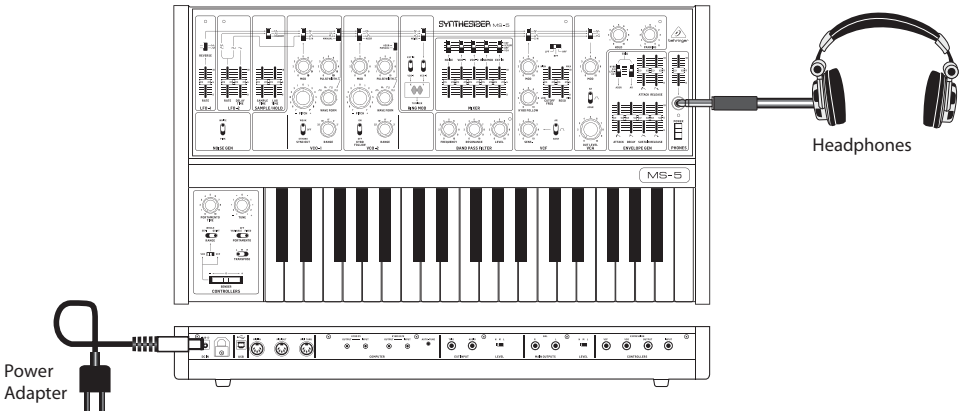
Studio System



Band / Practice System



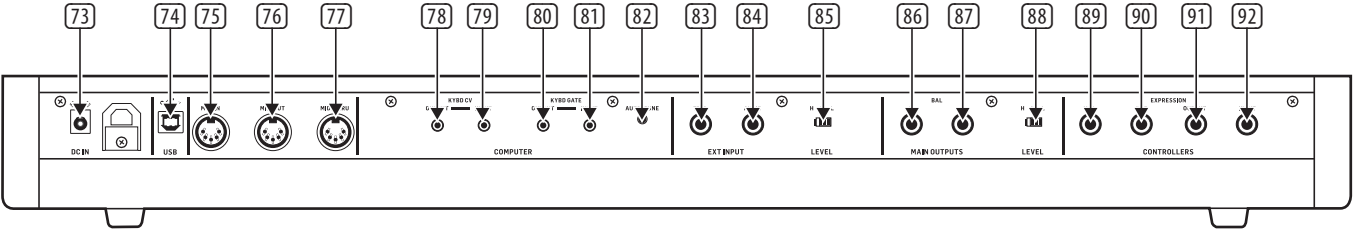
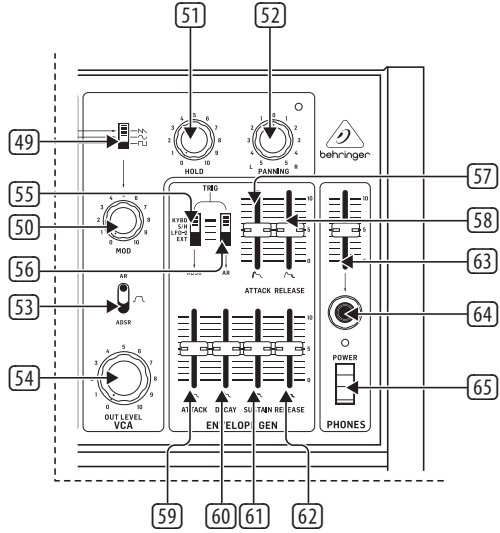
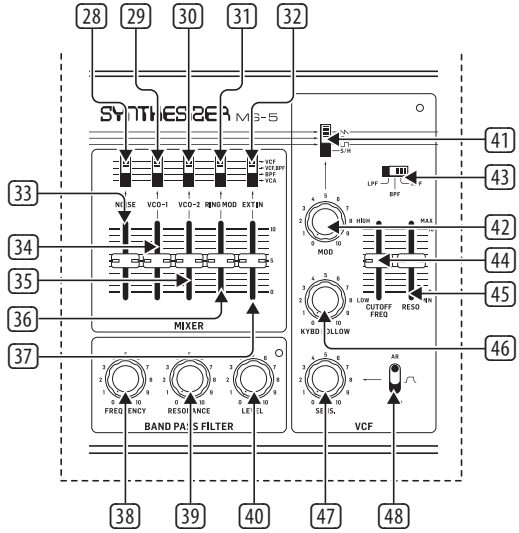
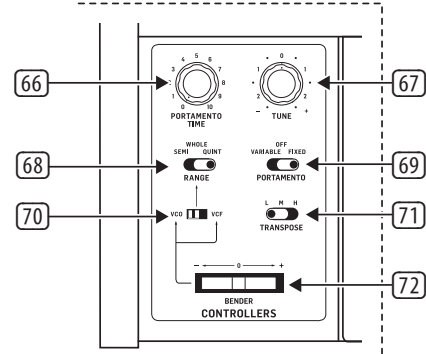
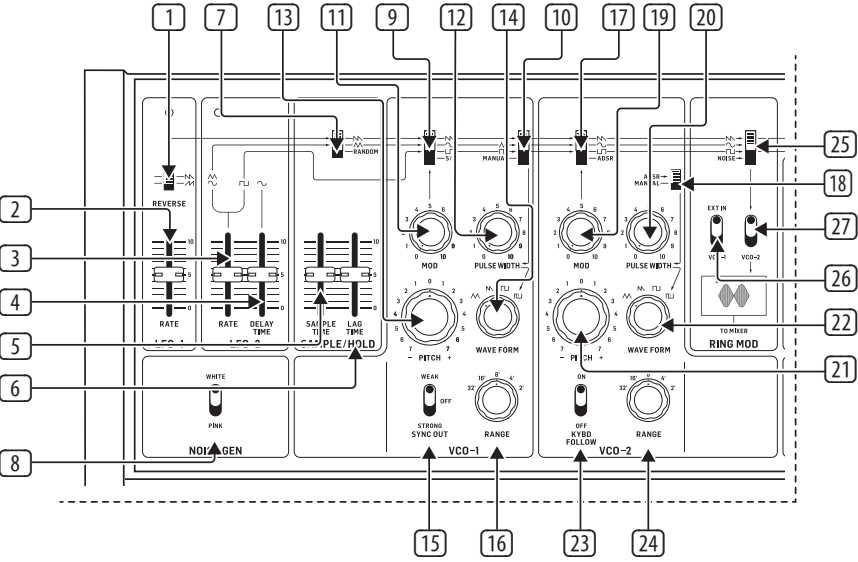
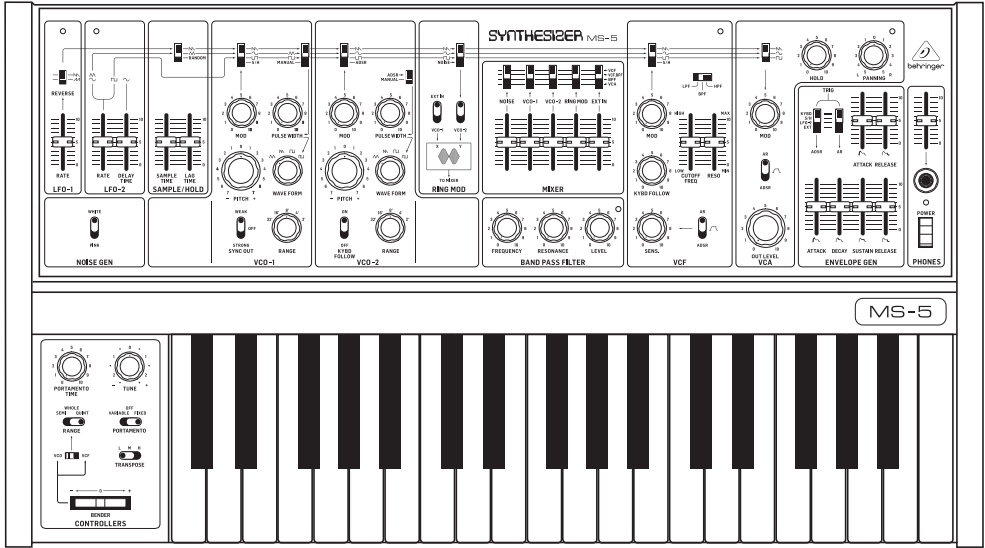
Practice System



MS-5 コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



MS-5 コントロール

JP

ステップ 2: コントロール トップパネル

LF01 部

1. **REVERSE (リバース)** – LF01 の波形を、ノコギリ波または逆ノコギリ波より選択します。
2. **RATE (レート)** – LF01 のスピードを調節します (0.1 Hz - 20 Hz)。

LF02 部

3. **RATE (レート)** – LF02 のスピードを調節します (0.1 Hz - 20 Hz)。
4. **DELAY TIME (ディレイタイム)** – LF02 サイン波が開始するまでの時間の長さを設定します (0 s – 4 s)。

SAMPLE/HOLD (サンプル/ホールド)

5. **SAMPLE TIME (サンプルタイム)** – サンプルアンドホールド サンプリングクロックのレートを調節します (2 s – 15 ms)。
6. **LAG TIME (ラグタイム)** – 出力が、前のサンプルから現在のサンプルボルテージになるまでの時間を調節します (0 s – 0.5 s)。
7. **波形選択** – サンプル信号に、ノコギリ波、三角波またはランダム、いずれかを選択します。

ノイズジェネレーター部

8. **NOISE GEN (ノイズジェネレーター)** – WHITE (ホワイトノイズ) と PINK (ピンクノイズ) のいずれかを選択します。

VCO1 部

9. **モジュレーション波形選択** – VCO1 の周波数モジュレーションを、ノコギリ波、サイン波、スクエア波、および S/H (サンプルアンドホールド)、いずれかのシェイプより選択します。
10. **パルス幅波形選択** – パルス幅変調のために三角形、正方形、または手動調整のいずれかを選択します。
11. **MOD (モジュレーション)** – 選択したシェイプのモジュレーションの深さを、0 – 10 の間で調節します。
12. **PULSE WIDTH (パルス幅)** – パルス幅 (PW) のデプスを 0 – 10 の間で調節します。パルス幅波形選択 スイッチを “MANUAL (手動)” に設定している場合、50% - 98% のデューティ アジャストとなります。

13. **PITCH (ピッチ)** – VCO1 のピッチを、セミトーン (半音) 単位で、-7 から 7 の範囲で調節します。
14. **WAVE FORM (波形)** – VCO1 の波形を、三角波、ノコギリ波、スクエア波、パルス波のいずれかより選択します。
15. **SYNC OUT (同期出力)** – VCO2 を VCO1 に同期する、同期 (シンク) 設定および同期のタイプを決定します。Sync 出力: WEAK (弱)、OFF (オフ)、STRONG (強)。
16. **RANGE (レンジ)** – 周波数をオクターブレンジで選択します: 32' 16' 8' 4' 2'。

VCO2 部

17. **モジュレーター波形選択** – VCO2 の周波数モジュレーションを、ノコギリ波、サイン波、スクエア波、ADSR、いずれかより選択します。
18. **パルス幅モード選択** – パルス幅モジュレーションの調節方法を、ADSR または MANUAL (手動) のいずれかより選択します。
19. **MOD** – 選択したシェイプのモジュレーションデプスを、0 – 10 の間で調節します。
20. **PULSE WIDTH (パルス幅)** – パルス幅 (PW) のデプスを 0 – 10 の間で調節します。パルス幅波形選択 スイッチを “MANUAL (手動)” に設定している場合、50% - 98% のデューティ アジャストとなります。
21. **PITCH (ピッチ)** – VCO2 のピッチを、セミトーン (半音) 単位で、-7 から 7 の範囲で調節します。
22. **WAVE FORM (波形)** – VCO2 の波形を、三角波、ノコギリ波、スクエア波、パルス波のいずれかより選択します。
23. **KYBD FOLLOW (キーボードフォロー)** – VCO2 をキーボードに追従させるかどうかを選択します。

24. **RANGE (レンジ)** – 周波数をオクターブ範囲で選択します: 32' 16' 8' 4' 2'。
25. **リングモジュレーターシェイプ選択** – ノコギリ波、サイン波、スクエア波、ノイズのいずれかを選択します。

26. **EXT IN/VCO-1 (外部入力 / VCO-1)** – RING MOD のX 入力を、EXT IN (外部入力) または VCO1 のいずれかより選択します。
27. **シェイプ選択 / VCO2** – RING MOD のY 入力を、シェイプ選択または VCO2 のいずれかより選択します。

Mixer (ミキサー) 部

28. **NOISE (ノイズ)** – 以下へパッチします: VCF, VCF/BPF, BPF, VCA。
29. **VCO1** – 以下へパッチします: VCF, VCF/BPF, BPF, VCA。
30. **VCO2** – 以下へパッチします: VCF, VCF/BPF, BPF, VCA。
31. **RING MOD (リングモジュレーター)** – 以下へパッチします: VCF, VCF/BPF, BPF, VCA。
32. **EXT IN (外部入力)** – 以下へパッチします: VCF, VCF/BPF, BPF, VCA。
33. **NOISE (ノイズ)** – レベル 0 - 10 で調節 (オフ~最大ゲイン)。
34. **VCO1** – レベル 0 - 10 で調節 (オフ~最大ゲイン)。
35. **VCO2** – レベル 0 - 10 で調節 (オフ~最大ゲイン)。
36. **RING MOD (リングモジュレーター)** – レベル 0 - 10 で調節 (オフ~最大ゲイン)。
37. **EXT IN (外部入力)** – レベル 0 - 10 で調節 (オフ~最大ゲイン)。

BAND PASS FILTER (バンドパスフィルター) 部

38. **FREQUENCY (周波数)** – バンドパスフィルターの中央周波数を調節します。
39. **RESONANCE (レゾナンス)** – フィルターのカットオフ周波数を強調する度合いを調節します。
40. **LEVEL (レベル)** – バンドパスフィルターのレベルを調節します (オフ~最大ゲイン)。

VCF 部

41. **VCF モジュレーションシェイプ** – フィルターカットオフ周波数モジュレーションのシェイプを、ノコギリ波、サイン波、スクエア波、S/H のいずれかより選択します。
42. **MOD (モジュレーション)** – 選択したシェイプの、フィルターカットオフ周波数のモジュレーションデプスを、0 – 10 の間で調節します。
43. **LPF/BPF/HPF** – ローパスフィルター、バンドパスフィルターまたはハイパスフィルターのいずれかを選択します。
44. **CUTOFF FREQ (カットオフ周波数)** – LPF および HPF のカットオフ周波数を調節します。
45. **RESONANCE (レゾナンス)** – フィルターのカットオフ周波数周辺を強調する度合いを調節します。レゾナンス量を上げると、自励発振します。
46. **KYBD FOLLOW (キーボードフォロー)** – フィルターへのキーボードトラッキングの量を、トラッキングなしから 1 V/オクターブまで調整します。
47. **SENS. (感度)** – フィルターに適用するエンベロープジェネレーターの、効果の感度を調節します。

48. **AR/ADSR** – AR、ENV または ADSR エンベロープのいずれを VCF が追従するかを選択します。

VCA 部

49. **VCA モジュレーションシェイプ** – ノコギリ、サイン、スクエア、のいずれかよりモジュレーションシェイプを選択します。
50. **MOD (モジュレーション)** – VCA で選択したシェイプのモジュレーションデプスを、0 – 10 の間で調節します。
51. **HOLD (ホールド)** – ホールドしたノートのレベルを変更します。高く設定すると、エンベロープジェネレーターより優位になります。
52. **PANNING (パンニング-定位)** – ステレオ音場におけるサウンドの位置を調節します。

53. **AR/ADSR** – AR、ENV または ADSR エンベロープのいずれを VCA が追従するかを選択します。
54. **OUT LEVEL (出力レベル)** – VCA 部の出力レベルを設定します (オフ~最大)。

ENVELOPE GEN (エンベロープジェネレーター) 部

55. **ADSR トリガーパッチ** – ADSR エンベロープのトリガーソースを、KYBD (キーボード)、S/H、LF02 または EXT (外部) のいずれかより選択します。
56. **AR トリガーパッチ** – AR のトリガーソースを、KYBD (キーボード)、S/H、LF02 または EXT (外部) のいずれかより選択します。
57. **ATTACK (*アタック)** – AR エンベロープのアタックタイムを調節します (0 s – 10 s)。
58. **RELEASE (リリース)** – AR エンベロープのリリースタイムを調節します (0 s – 15 s)。
59. **ATTACK** – ADSR エンベロープのアタックタイムを制御します (0 s – 10 s)。
60. **DECAY (ディケイ- 減衰)** – ADSR エンベロープのディケイタイムを制御します (0 s – 15 s)。
61. **SUSTAIN (サステイン)** – ADSR エンベロープのサステインレベルを制御します (0 V – 7 V)。

62. **RELEASE (リリース)** – ADSR エンベロープのリリースタイムを制御します (0 s – 15 s)。
63. **音量** – ヘッドフォンのメイン出力音量を制御します。

64. **ヘッドフォン** – ヘッドフォンを接続するための ¼ インチ (6.35 mm) TRS コネクタです。

65. **POWER (電源)** – on/off スイッチ。

MS-5 コントロール

ステップ 2: コントロール

コントローラー

- 66. **PORTAMENTO TIME (ポルタメントタイム)** - ノート間のグライド (ポルタメント) のレートを設定します。
- 67. **TUNE (チューン)** - セミトーン単位で、±2 の範囲でシンセのチューニングを調節します。
- 68. **SEMI/WHOLE/QUINT (セミ / ホール / クイント)** - ベンド幅をセミトーン、ホールトーン、5 度のいずれかに設定します。
- 69. **PORTAMENTO (ポルタメント設定)** - VARIABLE (可変)、OFF (オフ) または FIXED (固定) のいずれかより選択します。
- 70. **VCO/VCF** - VCO と VCF のいずれをベンダーで制御するかを選択します。VCF 選択時は Semi/Whole/Quint スイッチが無効になり、フィルターの広帯域のスweep が可能になります。
- 71. **TRANSPOSE (トランスポーズ)** - L (ロー)、M (ミディアム) または H (ハイ) の 3 種類の設定があります。それぞれ、1 オクターブ移動し、出力 CV が 1 ボルト増加します。
- 72. **BENDER (ベンダー)** - ピッチベンドコントロール。

背面部

- 73. **DC IN (DC 入力)** - 付属の電源サプライを使用します。
- 74. **USB** - 標準 USB ケーブルでコンピューターと接続します。
- 75. **MIDI IN** - シーケンサーや DAW など、外部 MIDI 機器からの MIDI 信号を入力します。
- 76. **MIDI OUT** - 外部 MIDI 機器に MIDI データを出力します。
- 77. **MIDI THRU** - MIDI IN から入力した信号をそのまま外部機器に出力し、チェイン接続します。
- 78. **KYBD CV OUTPUT (キーボード CV 出力)** - 0 V ~ 10 V の範囲。
- 79. **KYBD CV INPUT (キーボード CV 入力)** - 0 V ~ 10 V の範囲。

- 80. **KYBD GATE OUTPUT (キーボードゲート出力)** ゲートオフとして 0V、ゲートオンとして 5V。
- 81. **KYBD GATE INPUT (キーボードゲート入力)** - ゲートオフとして 0V、ゲートオンとして 5V。
- 82. **AUTO-TUNE (オートチューン)** - 電源LED が点滅するまで長押しします。チューニングにはおよそ 2 分間かかります。
- 83. **TRIGIN (トリガー入力)** - 外部トリガーを入力します。0V - 5V に対応します。
- 84. **AUDIO IN (オーディオ入力)** - 外部オーディオを入力します。
- 85. **INPUT LEVEL (入力レベル)** - ラインレベル信号には "H (ハイ)" を、ギターなどの楽器には "M (ミディアム)" を、マイクロフォンには "L (ロー)" レベルを選択します。
- 86. **RIGHT (右)** - 右オーディオ信号を出力する ¼ インチ (6.35 mm) TRS コネクター。
- 87. **LEFT (左)** - メイン信号を出力する ¼ インチ (6.35 mm) TRS コネクター。
- 88. **LEVEL (出力レベル)** - レベルを H (ハイ)、M (ミディアム) または L (ロー) より選択します。
- 89. **VCF** - フットペダルを使用すると、フィルター周波数を、コントロール 44 の設定値から上に向かってスweep します。
- 90. **VCO** - フットペダルを使用すると、VCO の周波数を上に向かってスweep します。
- 91. **OUTPUT (出力)** - エフェクト機器をインサートしてループを生成するための VCA 出力です。
- 92. **INPUT (入力)** - HOLD および PANNING コントロールへの入力で、ボリュームペダルまたはその他のエフェクト機器をインサートしてループを生成します。メイン出力 および ヘッドフォン出力にフィードします。

MS-5 はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

この「はじめに」ガイドは、MS-5 のセットアップと、その機能の簡単な導入に役立ちます。

接続

MS-5 をシステムに接続するには、このドキュメントの前の接続ガイドを参照してください。

ソフトウェアのセットアップ

MS-5 は USB クラス準拠の MIDI デバイスであるため、ドライバーのインストールは必要ありません。MS-5 では、Windows および MacOS で動作する追加のドライバーは必要ありません。

ハードウェアのセットアップ

システム内のすべての接続を確立します。接続を行う場合は、MS-5 の電源をオフにします。

サウンドシステムの電源がオフになっていることを確認します。

MS-5 の電源を入れてから、電源アンプをオンにして、最後に電源を切ります。これにより、スピーカーの「ポップまたはサウンド」のオン/オフを防ぐことができます。

ウォームアップ時間

MS-5 がウォームアップするまでに 15 分以上の時間を残してから、録画またはライブ パフォーマンスを行うことをお勧めします。(寒さから持ち込まれた場合は長く。これにより、高精度アナログ回路が通常の動作温度に達し、性能を調整することができます。

ファームウェアの更新

ベーリンガー SYNTHTRIBE アプリのアップデートについては、定期的に behringer.com ウェブサイトをチェックしてください。アプリは、ダウンロードして MS-5 を更新するために使用できる最新のファームウェアファイルを探します。

技術仕様

シンセサイザーアーキテクチャ	
声の数	2モノフォニック
タイプ	アナログ
発振器	2
LFO	2
VCF	1つの4極ローパス、1極ハイパス
バンドパスフィルター	1
VCA	1VCA
封筒	1AR、1ADSR、1固定
リングモッド	1
サンプル/ホールド	1
ノイズ	白、ピンク
接続性	
電源入力	+12VDC 入力コネクタ
電源スイッチ	ロッカースイッチ、オン/オフ
USB (MIDI)	USB 2.0、タイプ B
MIDI イン / アウト / スルー	3x5 ピン DIN / 16 チャンネル
KYBD CV の	TS 3.5 mm、不平衡、0V ~ 10V の範囲
KYBD CV アウト	TS 3.5 mm、不平衡、0V ~ 10V の範囲
KYBD ゲート	TS 3.5 mm、不平衡、ゲートオフとして 0V、ゲートオンとして 5V
KYBD ゲートアウト	TS 3.5 mm、不平衡、ゲートオフとして 0V、ゲートオンとして 5V
EXT トリガー入力	TS ¼", 不平衡、0V ~ +10V、トリガー電圧 => +3V
EXT オーディオ入力	TS ¼", 不平衡、最大+ 13 dBu
EXT 入力ゲインスイッチ	低= +44 dB、中= +20 dB、高=ユニティゲイン dB
メインステレオ出力	2x TRS ¼", サーボバランス、最大 +13.0 dBu
出力レベルスイッチ	低= -24 dB、中= -12 dB、高=ユニティゲイン
出力レベル発現コントローラー出力	TS ¼", 不平衡、最大出力レベル = +13 dBu
出力レベル式コントローラー入力	TS ¼", 不平衡、最大入力レベル = +13 dBu
VCF 式コントローラー	TRS ¼", 不平衡、10k ポテンショメータコントローラー、範囲 +2.5 オクターブ
VCO 式コントローラー	TRS ¼", 不平衡、10k ポテンショメータコントローラー、範囲 -1.5 オクターブ
ヘッドホン	TRS ¼", 不平衡、最大レベル= +9 dBu、最大負荷= 32 Ω
USB	
タイプ	クラス準拠の USB2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 7 以降 / Mac OS X10.10 以降
LFO 1	
コントロール	レート 0~10 (0.1 Hz~20 Hz)
スイッチ	波形出力: のこぎり波 / 逆のこぎり波

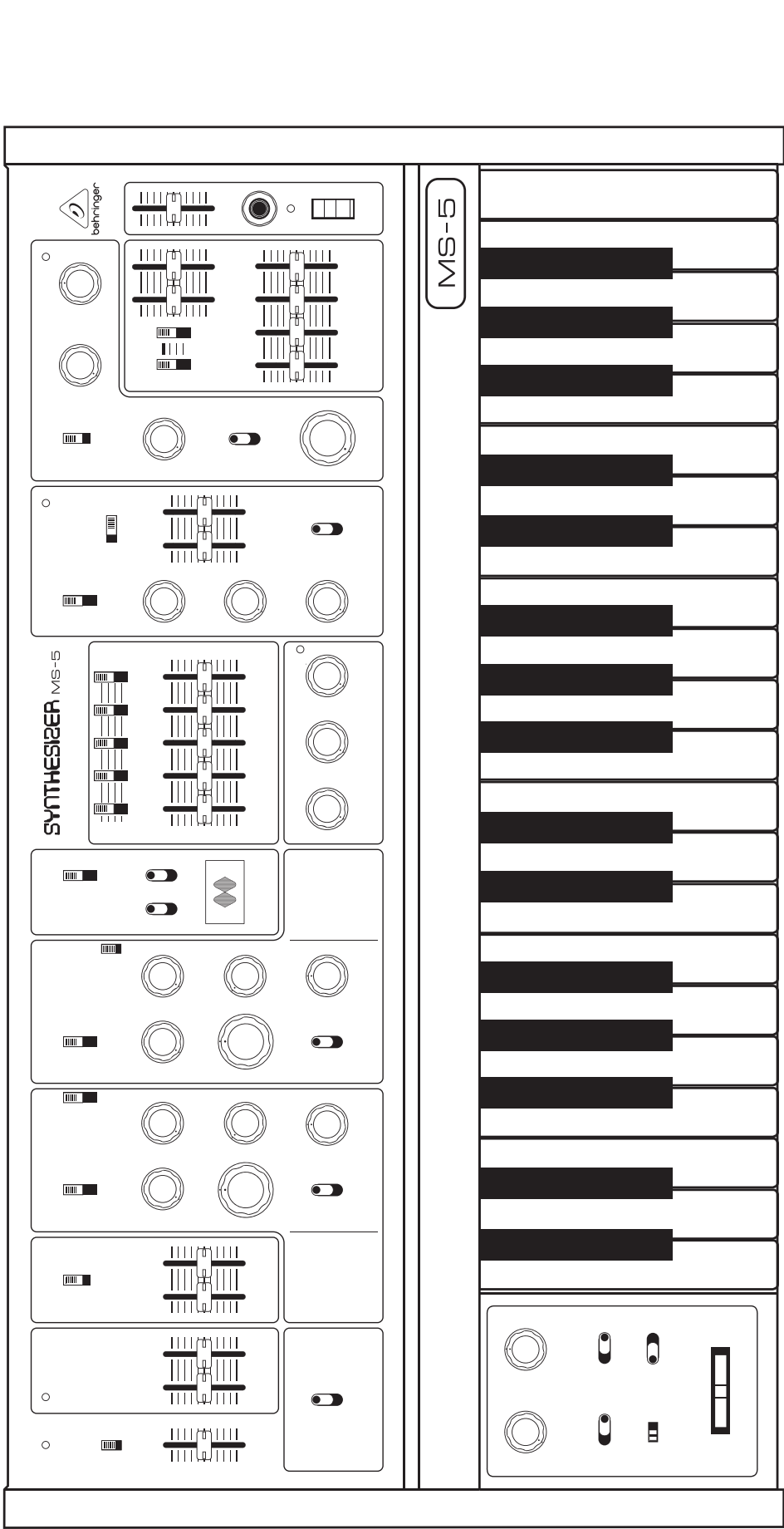
LFO 2	
コントロール	レート: 0~10 (0.1 Hz~20 Hz) 遅延時間: 0~10 (0~4 秒) は正弦波にのみ影響します
スイッチ	波形出力: 三角形 / 正方形 / 正弦
サンプル / ホールド	
コントロール	サンプル時間: 0 から 10 (2 秒から 15 ミリ秒) 遅延時間: 0 から 10 (0 秒から 500 ミリ秒)
スイッチ	ソース選択: 鋸歯 / 三角形 / ランダム
VC01 セクション	
コントロール	Mod: 0~100 (0%-100%) パルス幅: 0~10 (50%-98%) ピッチ: -7~ +7 半音 波形選択: 三角形ののこぎり波、方形波、パルス 範囲: 32 '16' 8 '4' 2 ' (オクターブステップ)
スイッチ	モジュレーションソース: 鋸歯状 / 正弦波 / 正方形 / S&H パルス幅変調ソース: 三角/正方形/手動同期アウト: 弱い / オフ / 強い
VC02 セクション	
コントロール	Mod: 0~100 (0%-100%) パルス幅: 0~10 (50%-98%) ピッチ: -7~ +7 半音 波形選択: 三角形、のこぎり波、方形波、パルス 範囲: 32 '16' 8 '4' 2 ' (オクターブステップ)
スイッチ	モジュレーションソース: 鋸歯 / 正弦 / 正方形 / ADSR パルス幅変調ソース: ADSR /マニュアル
	KYBD フォロー: オン / オフ
リングモッド	
スイッチ	X 入力ソース: Ext in / VC0 1
	Y 入力ソース: VC0 1 / 鋸歯 / 正弦 / 正方形 / ノイズ
ミキサーセクション	
コントロール	レベルコントロール: ノイズ、VC0-1、VC0-2、リングモッド、内線: 0~10
スイッチ	信号宛先セクター: VCF、VCF / BPF、BPF、VCA
バンドパスフィルター	
コントロール	周波数: 0~10 (100 Hz~10 kHz)
	共鳴: 0~10
	レベル: 0~10
VCF	
コントロール	カットオフ周波数、自励発振範囲: 0~10 (35 Hz~20 kHz) 共鳴: 0~10 Mod レベル: 0~10 (0%-100%) キーボードフォロー: 0~10 (0%-100%) 感度 ADSR: 0~10 (0%-100%)
スイッチ	Mod ソース選択: 鋸歯 / 正弦 / 正方形 / S / H フィルター選択: LPF / BPF / HPF フィルターエンベロープ選択: AR / 固定 / ADSR

VCA	
コントロール	ホールド: 0 から 10 (-∞ からユニティゲイン) パン: Lから R Mod レベル: 0~100 (0%-100%) 出力: レベル 0~10 (-∞ からユニティゲイン)
スイッチ	Mod 形状: 鋸歯状 / 正弦波 / 正方形
	アンプエンベロープ選択: AR / 固定 / ADSR
封筒 Gen	
コントロール	AR 攻撃: 0~10 (0~10 秒) AR リリース: 0~10 (0~15 秒) ADSR 攻撃: 0~10 (0~10 秒) ADSR 減衰: 0 から 10 (0-15 秒) ADSR サステイン: 0 から 10 (0 V-7 V) ADSR リリース: 0~10 (0~15 秒)
スイッチ	ADSR トリガーソース: Kybd、S / H、LFO-2、EXT
	AR トリガーソース: Kybd、S / H、LFO-2、EXT
出力	
電話	0~10 (-∞ からユニティゲイン)
コントローラセクション	
コントロール	ポルタメント時間: 0 から 10 (0 から 6 秒) チューニング: ±2 半音 ピッチベンダー
スイッチ	ベンダー VCO 範囲: セミ / 全体 / クイント (5 番目) ベンダーの宛先: VCO / VCA ポルタメント: 可変 / オフ / 固定= 20 秒 トランスポーズ: 低 / 中 / 高 (オクターブステップ)
キーボード	37 個のセミウェイトフルサイズキー
キーボードから VCO の範囲	レンジとトランスポーズコントロールのみを使用する C0 から C9 に注意してください
オートチューン	
スイッチ	VCO を調整します
電力要件	
PSU	12 V DC 1000 mA
消費電力	最大 12 W
電源 LED	電源とオートチューンインジケーター
物理的	
標準動作温度範囲	5°C– 45°C (41°F – 113°F)
寸法 (H x W x D)	90 x 647.5 x 360.7 mm (3.56 x 25.49 x 14.20 ")
重さ	9.88 Kg (21.78 ポンド)

MS-5 Patch Sheet

Patch Number

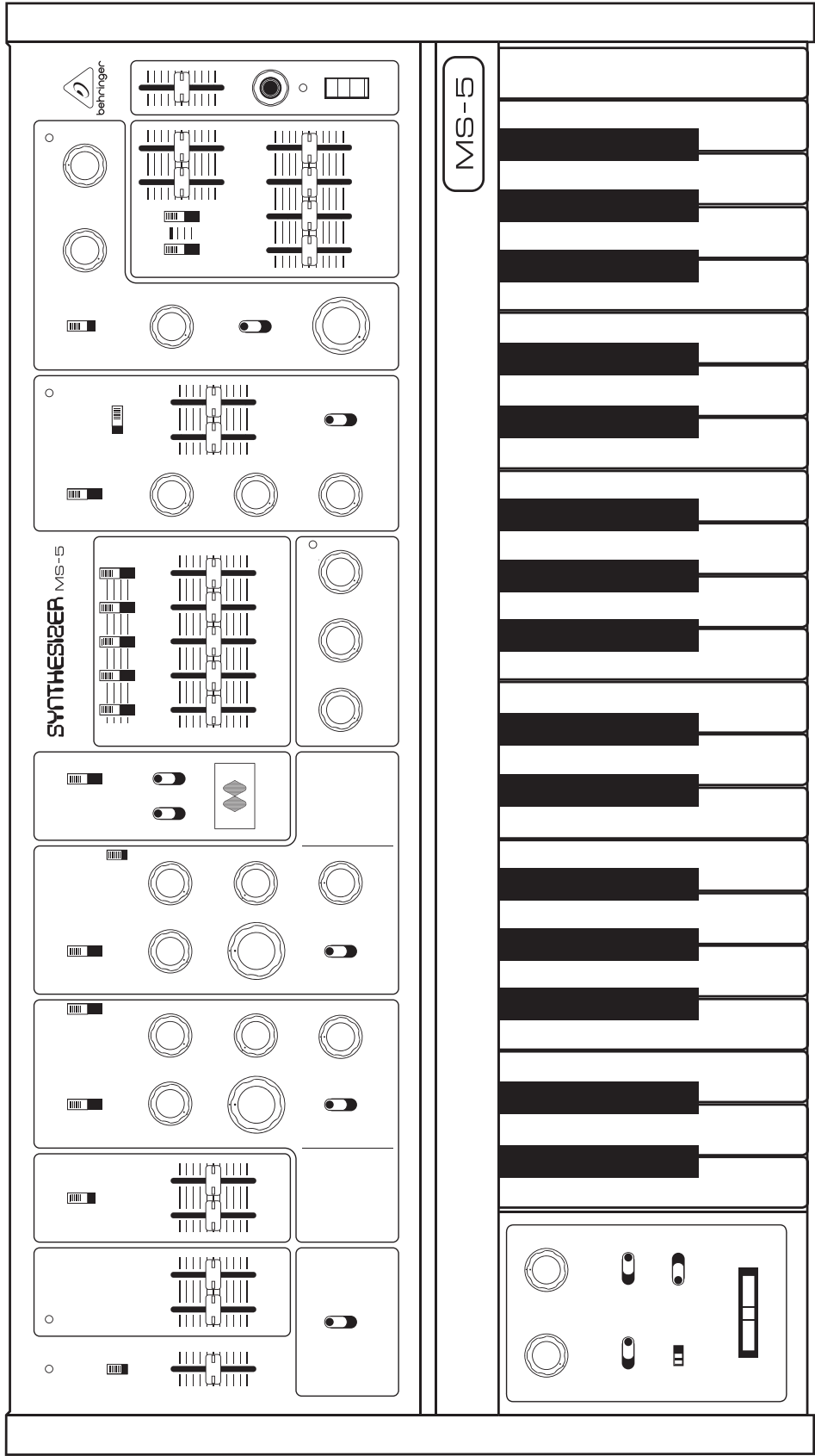
DATE:	AUTHOR:	TITLE:
NOTES:		



behringer

MS-5 Default Patch

DATE:	AUTHOR:	TITLE:
NOTES: Oscillators 1 and 2 play in mono, saw waveform, no modulation, adjust volume or headphone volume to suit.		



behringer

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

1.

ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。
ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2.

故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くになくときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3.

電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。
不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You